

水彩画教室 「ノールカップのオーロラ」

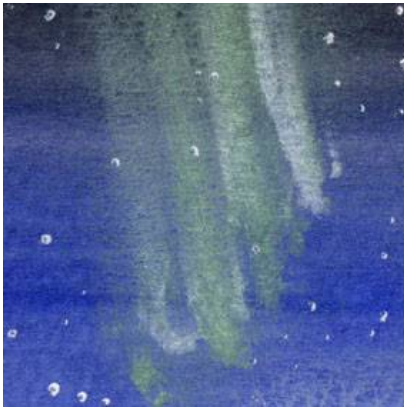
お茶の水女子大学サイエンス&エデュケーション研究所

田中 千尋 Chihiro Tanaka

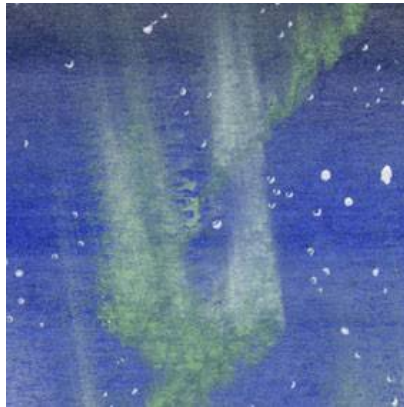
冬の間 夜が長いノールカップ(ヨーロッパ最北の岬)では オーロラの下 地球儀の形をしたモニュメントが 美しくライトアップされるといいます 私が行ったのは白夜の時期で こんな光景は見られませんでした 極寒の道を 北へ北へとたどって やっと着いた者だけが見られる 奇跡の光景です



これが完成した絵です



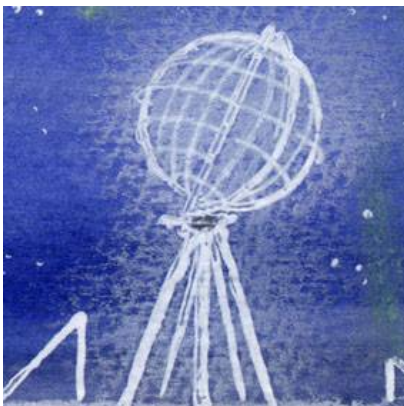
1、オーロラはパステルで描きます 指で同じ方向に伸ばすことで表現しています



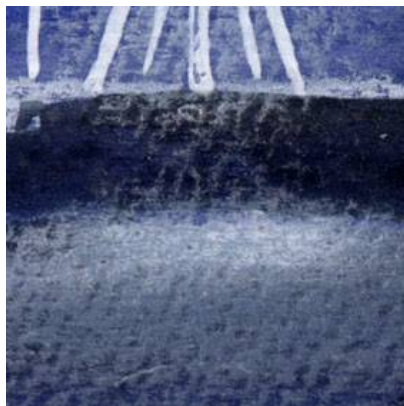
2、オーロラは同じ形は二度と現れません いろいろな形状を描いておきます



3、時には二重三重になることもあります この場合も同じ方向に パステルを伸ばします



4、ライトアップされたモニュメント 周囲を光芒で包むように パステルで描きました



5、台座の下の反映 これも白のソフトパステルを使いました 遠くほど暗くします



6、左右のステップも 光っている部分は白のパステルで描きます